

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	IRIE尼崎			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 20日 ～ 2026年 2月 17日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数)	19名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 17日 ～ 2026年 2月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広いスペースを活用し、身体を動かすプログラムの提供	広いフロアを活用し、サーキットや運動用具を用いた粗大運動を取り入れている 安心・安全な動線確保を徹底し、のびのびと活動できる環境を整えている	子ども一人ひとりの運動発達段階に合わせた個別メニューの作成を検討し、楽しみながら参加出来る機会をより増やす
2	作業療法士による専門的指導の実施	作業療法士が中心となり、微細運動や感覚統合の視点を取り入れた活動を実施 日々の活動の中でも、適切な姿勢保持や道具の使い方の助言を行っている	専門的な知見を全職員で共有するための研修や勉強会の開催を検討し、事業所全体での支援の質向上を図る
3	英語対応な職員によるインクルーシブな支援	英語を話せる職員が日常的に英語で声掛けを行うことで、多様な言語や文化にも自然に触れられる環境を構築	英語を用いたレクリエーションを企画し、子どもの知的好奇心を刺激するとともにインクルーシブ教育の更なる定着を目指す

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ワンフロア一体型の構造による学習への集中維持の難しさ	他の児童の活動音や視覚的情報が刺激となり、学習に集中しきれない場面が見受けられる	家具の配置を工夫し、視覚的情報を遮断したブースを設置する
2			
3			